

スタートガイド

ワイヤレスSOSボタンセット HMS-350Y/RF/EB7

はじめに

本書はHMS-350Yの設置・接続、必要最低限の操作方法までを説明しています。
より詳しくお知りになりたい方はHMS-350Y共通マニュアルをご覧ください。
(本製品は防水仕様でない為、設置は水に濡れないようご注意ください)

パッケージ同梱物

- ・HMS-350Y本体(以降メインユニット)
- ・ACアダプタ 1個(HMS-350Y本体用)
- ・縦置き用スタンド 1個
- ・HMS-350Yシリーズ共通マニュアル 1冊
- ・スタート&操作ガイド(本誌)
- ・HMS-350RF 専用無線ユニット(以降「無線ユニット」)
- ・HMS-350EB7 ワイヤレスSOSボタン(以降「SOSボタン」)

別途ご用意下さい

- ・インターネットに接続可能な端末(携帯電話、パソコン等)
- ・UPnP機能を持つモデムまたはルーター
(本製品の使用にはグローバルIPが一つ必要です)
- ・LANケーブル 1本

困ったときは?

- ・サポートページ<<http://www.qool-tech.co.jp/support/h350y/>>

※Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Windows Vista®は米国 Microsoft Corporation の米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。

設置・設定の流れ

ステップ1: 機器の設置

ステップ2: 機器の接続

ステップ3: 起動確認

ステップ4: 必要最低限の設定

ステップ5: ローカルネットワーク内での設定

<保証とアフターサービス>

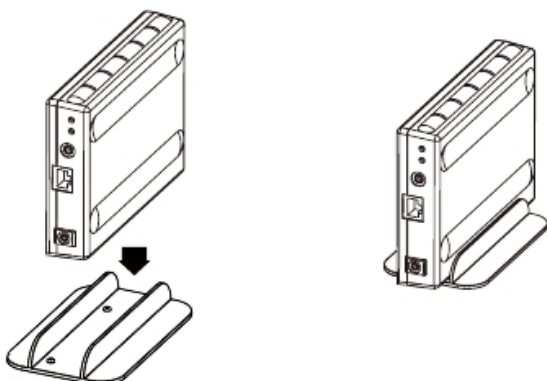
<無料修理規定>

ステップ1 : 機器の設置

図のように、機器を設置します。

HMS-350Yの設置には、付属のスタンドを取り付けて据え置きにするか、または壁掛けにするか選択できます。設置場所の環境に合わせてどちらかを選択してください。
ここではスタンドの取り付け方を説明します。

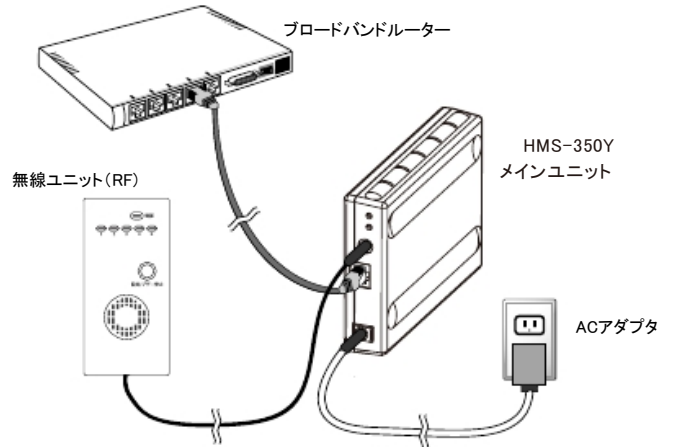
- ① 図のように、HMS-350Yをスタンドに乗せてください。
- ② 下図のように、HMS-350Yとスタンドが組み合わさったら完了です。



ステップ2 : 機器の接続

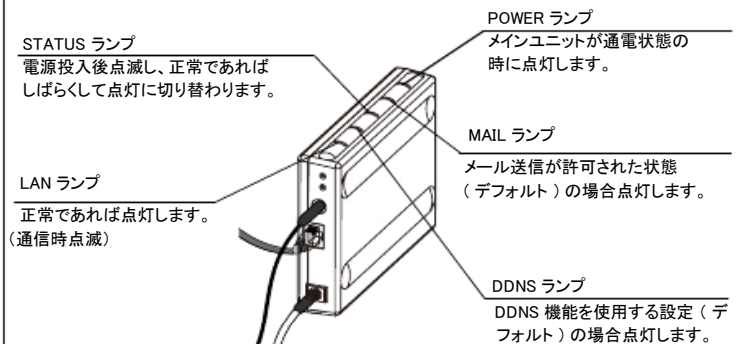
図のように、各機器を接続します。

図1 HMS-350Y接続イメージ

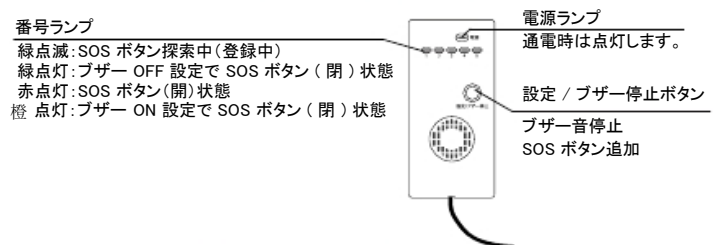


ステップ3 : 起動確認

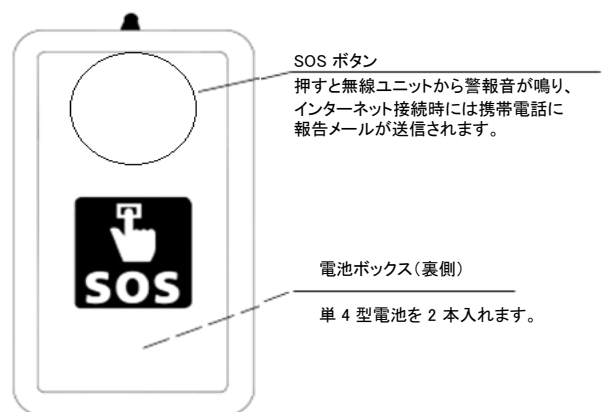
図1の様に接続しメインユニットの電源が入ると各ランプが点滅・点灯を開始します。



【専用無線ユニット】



【ワイヤレスSOSボタン】



SOS ボタン通信の確認

無線ユニットの通電後、約30秒後『SOS ボタン』に電池を入れて下さい。無線ユニットの番号ランプが緑点滅したままの場合は SOS ボタンを押してください。番号ランプが点灯したら通信成功です。

SOS ボタンの追加は、無線ユニットの 設定 / ブザー停止ボタン を押して上記『1』内の作業を繰り返してください。(追加作業は1台ずつ、時間を空けて行う必要があります)

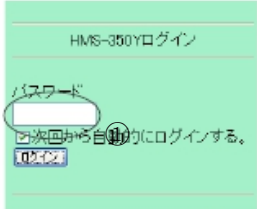
ステップ4：必要最低限の設定

HMS-350Y では動作、設定変更、故障等のトラブルを通知する仕組みとなっておりますが、通知を受ける為には事前に E メールアドレスを設定する必要があります、下記の手順に従ってメールアドレスを必ず設定して下さい。

<使用方法>

- 1・HMS-350Yメインユニットと同一LAN上のWindowsPC(ステップ5参照)より
<http://www.qool-tech.co.jp/support/h350y/index.html> にアクセスし、項目4. のローカルセットアップソフトウェアをダウンロード
- 2・ダウンロード完了後、ZIP圧縮されたファイルを解凍
- 3・解凍されたファイルをダブルクリックでソフトウェア起動
- 4・起動後、ソフト左下にある"Find"をクリックする事でLAN上にあるHMS-350Yを検索します。
- 5・検索を終え、LAN上にHMS-350Yが見つかったらURLが表示されるのでクリックしてください。(表示されない場合は、HMS-350YのSTATUSランプの点灯を確認し再度"Find"ボタンをクリック)
- 6・ログイン画面が表示されたらパスワードを入力、設定画面へアクセスします。

※本ソフトウェアの使用にはWindows搭載PCが必要です



- ①ログイン画面表示後、共通マニュアルの裏に印刷されている パスワード を入力してログインボタンを押して下さい。

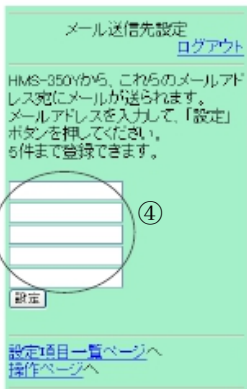


- ②次に画面下にある 設定 をクリックして下さい。

※ HMS-350Y のシステムの都合上、設定・操作画面における無線ユニット (RF) の認証端末は全て センサー と表示されます。



- ③ メール送信先 をクリックします



- ④通知を希望するメールアドレスを入力して設定ボタンを押して下さい (通知用メールアドレスは最大 5 個設定が可能です)

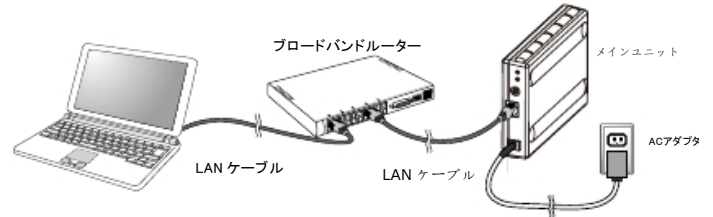
※設定後、SOS ボタンを押す等してメールが送信されてくるかをご確認下さい。

これで HMS-350Y をご利用いただく上で最低限の準備は整いました。他にも様々な機能、設定がございます。更に詳細な設定を御希望の方は操作ガイドをご覧ください。

ステップ5：ローカルネットワーク内の設定

① 設定用パソコンを LAN に接続します。

本機の設定は携帯電話・パソコン等のインターネット接続可能な端末を用いて外部からアクセスする事を前提としていますが、同一LAN内にあるパソコンからでも設定は可能です。＜詳細は弊社サポートページ参照 <http://www.qool-tech.co.jp/support/h350y/>>



保証とアフターサービス

保証書について

本書は保証書を兼ねています。保証書は、お買い上げの際に販売会社が「お買い上げ日・販売会社名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

まず「困ったときの対処法」を調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にご連絡ください。

なお、本製品の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

無料修理規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代:修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他:製品を送るために必要な送料/梱包料などをご負担ください。

修理の際ご連絡いただきたい内容

お買い上げ日:

販売会社名:

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、当社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、当社サービス部門またはお買い上げの販売会社に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に当社サービス部門にお問い合わせください。
3. ご転居、ご購入品等でお買い上げの販売会社に修理をご依頼にならない場合は、当社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用等、苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 本書の提示がない場合
 - (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売会社名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

| 保 証 書 | | | |
|----------------|--------|-----------------|--|
| 品 名 | | 型 名 | |
| ワイヤレスSOSボタンセット | | HMS-350Y/RF/EB7 | |
| 保証期間 | 本体 | 1 年 | |
| お買い上げ | 年 月 日 | 販 売 会 社 | |
| お客様 | お名前 | 所在地・名称(印) | |
| | ご住所 | | |
| | 電話 () | 電話 () | |

株式会社クールテクノロジーズ

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-6-3東京建物五反田ビル8F
Tel:0120-978-949 Mail: qool-support@qool-tech.co.jp

操作ガイド

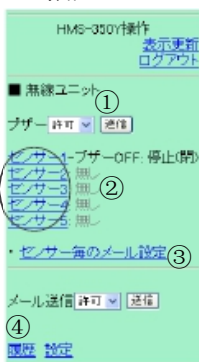
通報システムの用意されていない、エレベーターやトイレ等にワイヤレス SOS ボタンを設置する事で安価に、緊急通報システムを構築する事が可能です。ワイヤレス SOS ボタンが押されると、無線ユニット (RF) のアラームが鳴り予め設定しておいたメールアドレスに緊急事態を通知してくれます。

ここでは HMS-350Y/RF/EB3 の 設定・操作方法を解説します (ログイン後状態前提)

目的から探す

1. 操作
2. 動作内容を確認したい
3. SOS ボタン個別に設定する (選択)
4. SOS ボタン毎のメール設定1
5. SOS ボタン毎のメール設定2
6. 設定項目一覧
7. SOS ボタンの認証 (登録) を解除
8. パスワードを変更したい
9. 設置場所に合わせて名称を選択する
10. SOS ボタンの名称を直接入力する
11. メールの件名と送信者名を変更する
12. メールの件名と送信者名を入力する
13. 使用 DDNS を変更したい
14. 操作 (アクセス) 端末を制限する
15. ブザーの鳴る時間を設定したい
16. 使用ポート番号の変更

<1. 操作>

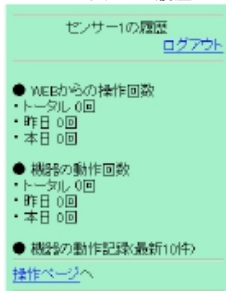


※ HMS-350Y のシステムの都合上、設定・操作画面における無線ユニット (RF) の認証端末は全て センサー と表示されます。

SOSボタンの各動作、メール送信の可否が設定出来ます。

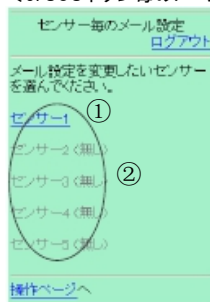
- ① 禁止 に設定し 送信 すると一時的 (5分間) ブザーが鳴らないようにする事が出来ます。
(SOSボタン反応時、ブザー鳴動中に 禁止 でブザー音停止)
- ② SOSボタン個別の動作履歴ページへ移動します
- ③ メール送信の可否を一括で設定可能です。
- ④ 画面左下の履歴から全てのSOSボタンの動作履歴が確認出来ます。

<2. SOSボタンの履歴>



SOSボタンのWEBからの操作・動作回数が表示されます。
(機器の動作履歴は最大10件まで記録)

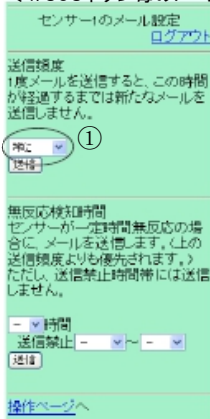
<3. SOSボタン毎のメール設定 (一覧)>



SOSボタン毎のメール送信の可否を個別に設定する事が出来ます。

- ① 設定したいSOSボタンをクリックして設定ページへ移動
- ② 無線ユニットは最大5個までのSOSボタンを登録可能です

<4. SOSボタン毎のメール設定 1>



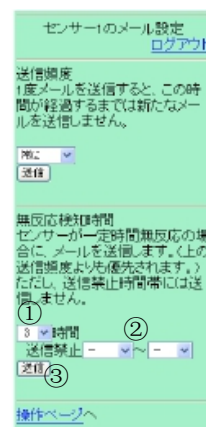
各SOSボタン毎にメール送信の可否も含めて詳細に設定する事が可能です

- ① リストから 常に を選択して送信ボタンを押して設定を反映して下さい
- 上記設定にするとSOSボタンが押される度ブザーが鳴り、メールが送信されるようになります

※注意※

ブザーは後述の 自動停止時間 を設定するか、無線ユニットにある 設定/ブザー停止ボタン を押し、または操作ページにあるブザーの設定項目を 禁止 に変更するまで鳴り続けます。

<5. SOSボタン毎のメール設定 2>



※ HMS-350Y のシステムの都合上、設定・操作画面における無線ユニット (RF2) の認証端末は全て センサー と表示されます。

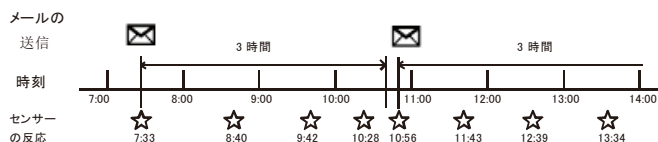
SOSボタンが一定時間押されなかった際に、メール通知する設定に出来ます

- ① 無反応 と判定する時間を設定します。
- ② メールを受信したくない時間帯を設定し③の送信ボタンを押して設定を反映

上記のように設定する事でSOSボタンの無反応時間①で設定した時間が経過するとメールで通知されます。

送信頻度の説明

メールが送信された後、設定した期間は SOS ボタンの反応があっても送信されません。
下図は3時間の場合の例です。



<6. 設定項目一覧>



HMS-350Y の各操作、設定項目に移動します

※注意※

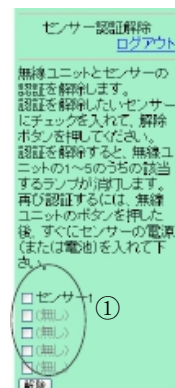
メール送信先設定は スタードガイド で説明している為操作ガイド では説明いたしません。

- ① HMS-350Y の使用環境とファームウェアのバージョンが表示されます

※注意※

この情報は同一LAN上から接続した場合のみの表示となります。携帯電話等を用いてインターネット経由でアクセスした場合は表示されません。

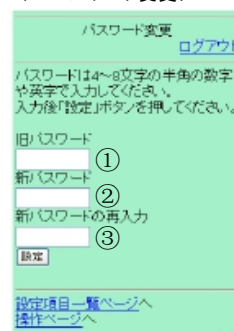
<7. SOSボタン認証解除>



無線ユニットに登録 (スタートガイド参照) した SOS ボタンの認証を解除します

- ① 認証を解除する場合、解除したいSOSボタンにチェックして解除ボタンを押して下さい。

<8. パスワード変更>

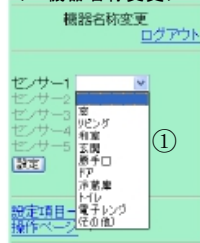


パスワードを変更する事が出来ます。

- ① 現在のパスワード入力欄
- ② 新規に設定するパスワード入力欄
- ③ 新規に設定するパスワード確認再入力欄

①-③を入力後、設定ボタンを押すと変更が反映されます。

<9. 機器名称変更>

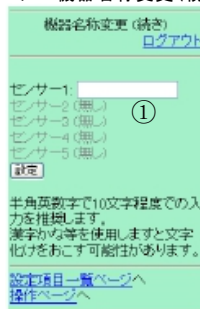


※ HMS-350Y のシステムの都合上、設定・操作画面における無線ユニット (RF) の認証端末は全て センサー と表示されます。

SOSボタン名称を設置箇所に合わせて変更出来ます。

- ①リストから適した名称を選択して設定ボタンを押して反映します。(その他)を選択する事で名称を直接入力する事も可能です。

<10. 機器名称変更(続き)>



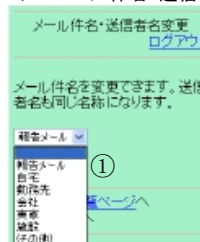
機器名称を任意で設定する事が出来ます

- ①任意の名称を入力後、設定ボタンを押して反映します。

設定した件名は、以降リストの上部に表示されます。入力する際は文字化けを起こす可能性がある為、漢字・カナ等の使用は控え、10文字前後の半角英数字で入力する事をお勧めします。

※注意※
任意に設定できる名称は一つです、次回以降の入力は上書き処理されます。

<11. メール件名・送信者名変更>

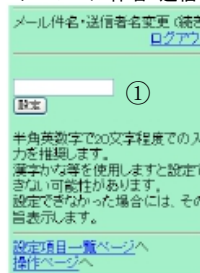


HMS-350Yから送信されるメールの件名・送信者名を変更する事が出来ます。

- ①リストからご希望の名称を選択し、設定ボタンを押して反映します。空白を選択するとメールの件名が無題となります。

その他を選択すると、任意の名称を直接入力可能です。

<12. メール件名・送信者名変更(続き)>

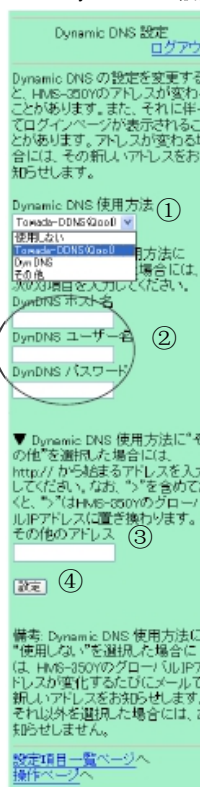


メールの件名を任意で入力する事が出来ます。

- ①任意の件名を入力後、設定ボタンを押して反映します。

下記の点にご注意下さい設定した件名は、以降リストの上部に表示されます。入力する際は文字化けを起こす可能性がある為、漢字・カナ等の使用は控え、10文字前後の半角英数字で入力する事をお勧めします。

<13. Dynamic DNS設定>

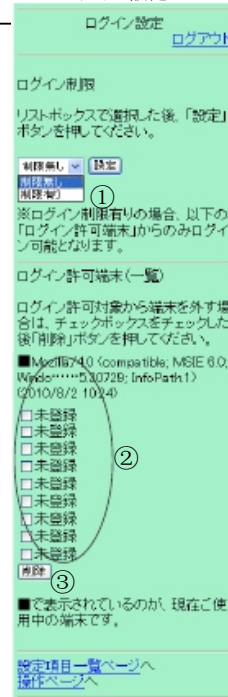


HMS-350Yで使用するDDNSサーバーを変更・設定する事が出来ます。

- ①リストに表示されたデフォルトは弊社のDDNSサーバーに設定されています。
- ② DynDNSを使用する場合、このスペースに必要な情報を入力する必要があります。
- ③①でその他を選択した場合、使用するDDNSの更新(IPアドレス登録)用URLをこちらに入力して下さい。

上記変更は④の設定ボタンを押す事で反映します。

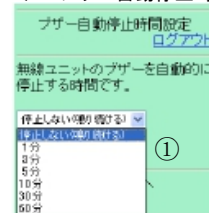
<14. ログイン設定>



HMS-350Yにアクセス出来る端末機器を制限出来ます。

- ① 制限有りを選択して設定ボタンを押すと②で登録されている(過去にアクセスした)端末以外からはアクセス不能となります。
- ② HMS-350Yにアクセスした順に端末が登録されていきます。
- ③ 削除したい端末にチェックを入れて削除ボタンを押すと、登録情報が削除されます

<15. ブザー自動停止時間設定>

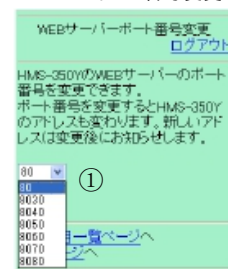


無線ユニットのブザー鳴動時間を設定出来ます。

- ①リストからブザーが自動停止するまでの時間を選択し、送信ボタンを押して設定を反映します。

停止しない(鳴り続ける)を選択した場合、無線ユニットにある設定/ブザー停止ボタンを押すか<1. 操作>にあるブザーの設定項目を禁止に変更するまでブザーは鳴り続けます。

<16. WEBポート番号変更>



HMS-350Yが使用するポート番号を変更(選択)する事が出来ます。

- ① HMS-350Yはデフォルトでポート80番を使用してインターネットにアクセスしますが、ご利用のネットワーク上で同一のポート番号を使用する機器が他にある場合、動作に支障を来す可能性があります。

リストの中から他の機器で未使用のポート番号を選択し、設定ボタンを押して下さい。

※重要※

ポート番号を変更する前に必ずメール送信先に通知用のメールアドレスを設定して下さい。ポート番号変更後のURLを受けられず、HMS-350Y・WEB操作画面にアクセス出来なくなる可能性があります。

困ったときの対処方法 — 専用無線ユニット

| 現象 | 対処方法 |
|---|--------------------------|
| 2台のHMS-H300RF2で続けざまに認証を行うと、1-5のランプが点滅して、認証できなくなる。 | 次の認証を行う前に1分以上時間を空けてください。 |

■一般仕様

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| ・入力電圧 | DC3V (単4型電池2本) |
| ・消費電流(最大) | 30mA |
| ・外形寸法 | H115×W70×D13(mm)(最大突起部含まず) |
| ・重量 | 115g (電池含む) |
| ・使用環境 | 温度: 0℃～40℃ 湿度: 35%～85% (結露なきこと) |
| ・無線到達距離 | 見通し300m (HMS-H300RF2無線ユニットを使用した場合) |